

兵庫県
保険医協会

加古川
高砂

支部ニュース

No. 219

2012年7月15日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三十一

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話〇七八(三九三)一八〇一

公的介護保険制度の後退を許さない取組を!

加印社会保障推進協議会第12回総会を開催

協会加古川・高砂支部が加盟する加印社会保障推進協議会の第12回総会が6月22日、加古川市立勤労会館で開かれ、医療関係者や商工団体、住民組織の代表など20人が参加した。

総会議事では、2011年度活動報告と2012年度の活動方針が承認され、岡部桂一郎加古川・高砂支部長が会長に再選された。

記念講演では元デザイナーほのぼのの郷(明石市)所長でケアマネジャーの肥塚俊一氏が、「介護保険」をテーマに講演。

肥塚氏は、2011年の介護保険制度の改定で税と社会保障の一体改革案で示された2025年度の医療・介護のあるべきとして構想されている「地域包括ケアシステム」を中心に、介護保険制度の現状と課題について解説。



講師の肥塚俊一氏

講演の中で、地域包括ケアシステムは、「医療・介護・福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスが日常生活圏域で適切に提供できるような地域での体制」と位置付けられているが、医療・介護の新たな「公費抑制・効果システム」としてつくりあげる公的介護保険制度の「公」を大きく後退させるものにほかならないと指摘し、主な問題点として次の点をあげた。

①「自助・互助・共助・公助」の役割分担による「自己責任」を土台にして、「権利としての社会保障」の理念を否定し、介護保険の理念である「介護の社会化」の放棄。

②「給付の重点化・効率化」をかけた、安上がりな介護・医療体制への再編

③保険外サービスの拡大、企業参入による市場化の本格的推進

④財政を含めた国の責任を縮小することを前提に、地域包括ケアシステムに関わる様々な権限を市町村に付与

また、加印2市2町の特別養護老人ホームなど基盤整備状況を報告。その上で、未だに設置されていない「夜間対応型訪問介護」の整備を急がせることや、立ち遅れ



地域包括ケアシステムの問題点等を学んだ

ている整備計画をすすめさせることとあわせて、介護保険料の引き下げるため、国庫負担割合を引き上げるよう国に強く求めていくことが必要であるとした。

最後に、公的介護保険制度の後退を許さず、自治体の責務を果たさせる取組みを地域から起こしていくことが重要であると強調した。

参加者からは「現在の不安定な雇用状況のもと、介護保険料を払えない階層が増加しているが対策はあるのか」「介護保険料が制度導入時の2000年から比較して約2倍になっている自治体もあり、高齢者の生活を圧迫している」などの意見も出された。

2012年6月現在の加古川市、高砂市、播磨町、稲美町の介護保険サービス基盤整備状況は下記のとおり。
 肥塚氏の講演でも触れられていたように各市町で「夜間対応型訪問介護」の整備がゼロとなっている。また、加古川市の介護老人保健施設の設置数が4施設のみと、人口との比較で整備が遅れていることなどが読みとれる。
 なお、訪問看護(みなし)および訪問リハビリ(みなし)については、医療機関であれば自動的にみなし事業所として指定されるため、設置数が多くなっている。



	加古川市	高砂市	播磨町	稲美町		加古川市	高砂市	播磨町	稲美町
居宅看護支援	55	19	5	6	福祉用具販売	13	4	1	2
訪問介護	58	12	4	6	老人福祉施設(特養)	11	4	1	1
訪問入浴	4	1	4	6	介護老人保健施設(老健)	4	3	0	1
訪問看護(みなし)	264	95	27	25	介護療養型医療施設	1	0	0	0
訪問看護(訪問看護ステーション)	17	8	2	2	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0
訪問リハビリ(みなし)	255	84	24	25	認知症対応型通所介護	5	2	0	0
訪問リハビリ(届出)	2	0	0	1	小規模多機能型居宅介護	7	1	1	2
通所介護	69	22	6	8	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	10	6	1	1
通所リハビリ	42	10	4	6	地域密着型老人福祉施設入所者生活介護	5	1	0	0
短期入所生活介護	15	5	1	1	地域包括支援センター	1	1	1	1
短期入所療養介護	5	3	0	1	地域包括支援センター(ランチ)	12	5	0	0
福祉用具貸与	14	3	1	2	【人口(概数)】	262,000	93,000	33,000	31,000